

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～18℃台を示し、やや低い～やや高い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の76%（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の69%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり78kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.4トンの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり148kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の2.7倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり856kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり4.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり170kgの水揚げ。対馬東岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり29kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ブリが1日当たり250kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/20～3/23）4日間の沖合イカ釣は、船凍船は切揚。  
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖にかけて出漁した。  
境港基地の小型イカ釣船 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）